

【日 時】平成30年7月24日（火）10：00～12：00

【場 所】香川県手をつなぐ育成会事務所

【参加者】香川県手をつなぐ育成会
香川県手をつなぐ育成会
地域生活支援センターこだま
相談支援センターりゅううん
高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

計7名

【協議内容】「余暇支援」について関係機関と意見交換する(情報収集)

【意 見】

- そもそも障害児者が参加できる余暇活動が少なく、保護者が立ち上げ運営している団体が多い。そのため運営の継続にも大変な労力がかかっており、広く一般に入会を呼びかけていない。希望があった場合、その対応が難しい。
- 運営等をしている保護者が高齢化した際に継続できるか不安。できなくなると自身の子どもの余暇が減ることになる。保護者が担っている部分は大きい。
- 保護者同伴なしに利用できる活動場が少ない。
- 軽度の方は地域活動（コミセン、ピアノ、太極拳等）に参加している方もいる。
- 夢の翼でアンケートをとった結果をみると、サービス利用（Ⅱ型、移動支援）以外だと「家族と過ごしている」という回答も多い。
- 自立支援協議会からの働きかけで何か活動の場が増えたらいい。
- 学校の同窓会等、障害者が集まるときに何かしてくれないか。 等

【結 果】

- 相談支援専門員のツールとしての、パンフレット作成を検討していく。
当初、余暇支援に関するパンフレット作成を考えていたが、保護者のいろいろな想いをお聞きすると、広く情報提供するパンフレットを作るのは困難と判断。パンフレットを活用するためのガイドラインの必要性も感じた。
- 各団体の関係者と相談支援専門員の意見交換の場があっても良いのではないか。

【積み残された課題】

- 長期取り組みとしている「知的障害者の地域移行」についての検討がまだ始まっていない。